

【 診療科:血液腫瘍内科 】
 【 レジメン登録番号:IG-109 】

〈R²療法〉

【1コース】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)										
			1	...	8	...	15	...	21	22	...	28	
リツキシマブBS	375mg/m ²	div	○		○		○			○			
レブラミド	20mg	p.o.	←	Day1~21まで服用								→	

【2~5コース】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)										
			1	...	8	...	15	...	21	...	28		
リツキシマブBS	375mg/m ²	div	○										
レブラミド	20mg	p.o.	←	Day1~21まで服用								→	

【6~12コース】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)									
			1	...	8	...	15	...	21	...	28	
レブラミド	20mg	p.o.	←	Day1~21まで服用								→

【1コース期間:28日】

【総コース数:12コース】

【適応癌種:再発・難治性濾胞性リンパ腫・辺縁帯リンパ腫】

【時期:術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

【1コース目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	ホラミン 1A	div(全開で)	day1,8,15,22
	ソル・コステフ(100mg) 1V		
	生理食塩液 50mL		
Rp.2	リツキシマブBS 375mg/m ²	div	day1,8,15,22
	生理食塩液 500mLで10倍希釈	(添付文書参考に)	
Rp.3	レブラミド 20mg	p.o.(分1 朝食後)	day1~21

【2~5コース目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	ホラミン 1A	div(全開で)	day1
	ソル・コステフ(100mg) 1V		
	生理食塩液 50mL		
Rp.2	リツキシマブBS 375mg/m ²	div	day1
	生理食塩液 500mLで10倍希釈	(添付文書参考に)	
Rp.3	レブラミド 20mg	p.o.(分1 朝食後)	day1~21

【6~12コース目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	レブラミド 20mg	p.o.(分1 朝食後)	day1~21

【参考文献:レブラミドカプセル 添付文書 2020年2月改訂、J Clin Oncol 37:1188-1199,2019】

【備考:リツキシマブBS投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行うこと。

また、副腎皮質ホルモン剤と併用しない場合は、副腎皮質ホルモン剤の前投与を考慮すること。】

【変法情報:

】